

ページ内を移動するためのリンクです。

- [メインコンテンツへ移動](#)



一般社団法人 日本原子力技術協会

- [会員専用ページ](#)
- [サイトマップ](#)
- [English](#)

サイト内検索

文字サイズの変更

- 
- 
- 

- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

現在表示しているページの位置

- [HOME](#)>
- [東北地方太平洋沖地震：理事長声明文](#)

- [前のページへ戻る](#)

# 東北地方太平洋沖地震：理事長声明文

平成 23 年 3 月 14 日  
日本原子力技術協会

未曾有の地震の影響を受けた東京電力の福島第一原子力発電所は、報道にあるように、安全上の機器を動かす電源が失われて炉心の冷却が出来ず、そのため1号機において核燃料棒の一部が過熱され、放射線量の上昇が建物の外で確認されるとともに放射性物質も検出された。また、原子炉建屋内で水素爆発が発生し、原子炉建屋最上階の外壁が損壊した。3号機においても、同様な事象が発生したと報道されたところである。

多数の地元住民の避難を伴う国内最大級の原子炉事故が起きたことは間違いない。避難されている住民の方が一刻も早く通常の生活に戻ることが望まれる。

今、求められているのは、原子力関係者がこの厳しいかつ限られた状況の中であらゆる手を尽くして一刻も早く原子炉を安全な状況に戻すことである。

そのために、東京電力が最大の努力を払っていることは重々承知しているが、今回の事象は、1事業者だけの問題ではなく、産業界の力を結集してこの事態に立ち向かわなくてはならない。原子力発電に関わる事業者・メーカーなど関係者は知恵とリソースを投入して原子力産業界全体としてバックアップすべきである。

原技協においては協会内に特別チームを立ち上げ、可能な限りの貢献につとめるとともに、確かな情報入手による協会外部への的確な技術情報の発信に取り組んでいく。

添付資料1 [東北地方太平洋沖地震の概況](#) (PDF)

添付資料2 [東北地方太平洋沖地震への原子力発電所の対応](#) (PDF)

添付資料3 [関係資料](#) (PDF)

以上

[新着情報一覧](#)

[最近1年間](#)

[2010年度分](#)

[2009年度分](#)

[2008年度分](#)

[2007年度分](#)

[2006年度分](#)

[2005年度分](#)

[ページの先頭へ](#)

[日本原子力技術協会について](#)

- [設立趣旨](#)
- [協会情報](#)
- [役員からのメッセージ](#)
- [会員制度について](#)
- [会員名簿](#)
- [社員総会](#)
- [評議員会](#)
- [事業計画等](#)

[活動内容](#)

- [原技協活動の全体概要](#)
- [情報の収集・分析・活用](#)
- [安全文化の推進](#)
- [民間規格の整備促進](#)
- [技術力基盤の整備](#)
- [原子力技術者の育成・維持](#)
- [組織横断的取り組み](#)
- [活動報告ライブラリ](#)
- [資料・データアーカイブ](#)

- [施設稼働状況](#)
- [関連リンク](#)
- [情報セキュリティ宣言](#)
- [サイトのご利用にあたって](#)
- [個人情報保護方針](#)
- [お問い合わせ](#)



一般社団法人 日本原子力技術協会

Copyright © 2010 Japan Nuclear Technology Institute, All Rights Reserved.